

令和8年8月に発生した農作業死傷事故

10月のワンポイント

農林水産省HP等による公表

タイトル：SS事故に注意！収穫期のコンバイン作業も安全確認を！

＜ 8月に発生した農作業死傷事故：37件 ＞

うち農業機械作業に係るもの：23件

○8月は20件の死亡事故を含む37件の死傷事故が報告されました。

○37件報告された死傷事故のうちトラクターは8件（うち死亡事故4件）、熱中症は6件（うち死亡事故4件）、スピードスプレーヤー（以下「SS」）による事故が5件（うち死亡事故4件）でした。

○SSによる事故では、転倒・転落とともに枝との挟まれによる死亡事故が多発しております。以下の点に気を付けましょう。

【転倒・転落対策】

- ・作業通路の幅、横方向や進行方向の勾配を整備する（SSの取扱説明書の制限値以下に）
- ・下り坂では変段速を低速に入れ、エンジンブレーキを併用する
- ・安全フレーム付きの機種を使う

【枝との挟まれ】

- ・枝下空間を確保する
（SSの座席の座面から105cm上方までと、横方向を車幅より広く）
- ・樹列の中央部が最も枝下空間を確保しやすいため、ここを通路として走行することを心がける

＜10月のワンポイント＞

○例年、稲を収穫する時期にはコンバインによる事故が多く発生しております。

○転落・転倒事故、補助者がひかれる事故の対策については、先月号（[jikojocho-106.pdf](#)）をご確認ください。

○手こぎ作業等では巻き込まれ事故を防ぐため、以下の点に気を付けましょう。

- ・手袋、タオルを外して作業する（タオルや手ぬぐいを首や腰にも掛けない）
- ・作業の際は、袖口をしっかりと締める
- ・点検、整備、清掃時は必ずエンジンを停止し、十分に明るい場所で行う



巻き込まれ事故に
注意！

巻き込まれ事故は、
点検整備・清掃時
と手こぎ作業時で
発生！

○雨によって作業計画に遅れが生じると、つい作業を急ぎたくなります。焦りは事故の原因になりますので、慌てず落ち着いて、安全を確認しながら作業を行いましょう。

○大雨により農業機械が水没してしまった場合は、以下の点に注意しましょう。

【エンジンはかけず、整備業者等に相談を】

浸水に気付かず動かすと破損の恐れがあります。水が引いたら早めに機械を乾燥させ、整備業者等に相談してください。整備事業者等による点検を受ける前にはエンジンをかけないでください。

【漏電等に注意】

バッテリーや電気配線、モーター一部が水に浸かるとショートや漏電が生じ、火災の恐れがあります。